

「IDI への期待・注目 マスコミ取材記事が増加」



新年明けましておめでとうございます。IDI 会員におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。今年も宜しくお願い致します。鴨井久一理事長の豊富な経験に基づいた、歯科界の現状・将来を見据えての運営の下、確実な歩みをしてきた昨年でした。今年も各理事と意見交換をしながら、気を引き締めて会務運営に務めて行く所存であります。

今年には診療報酬改定があります。歯科界の最大の関心事ですが、改定に向けての基本方針は中医協で示されましたが、「骨太方針 2019」を反映した内容になっています。「かかりつけ歯科医」「訪問歯科診療」「医科歯科連携」などの充実がその中心になっていますが、今後の医療には不可欠な患者視点にも言及しています。ここで、再確認しておく必要があるのは、厚労省の政策である地域包括ケアの推進に伴い、地域医療としての歯科診療が問われます。歯科の専門家同士は当然ですが、地域住民・行政からの評価も無視できません。繰り返しますが、「骨太方針 2019」などは、IDI が当初から掲げてきた理念に沿うもので、時代が理解・認識してきた感は否めません。その意味を踏まえ、IDI の年間事業にも配慮していきたいと考えています。会員である歯科診療所の意見を反映した内容、評価される企画を検討していきます。

具体的には、IDI 歯科学会の充実があります。毎回、会員の理解・協力を得て回数を重ねてきたことで、その趣旨が理解・浸透されてきました。そこで、さらにグレードアップを図る意味で、会員発表の企画を充実していきたいと考えています。これこそ、日本歯科医学会傘下の歯科の学会とは別に、まさに日々の臨床から“思うこと”、“検討したこと”など、素朴な臨床症例等を会員から紹介・報告していただくことを重要視したいと考えています。正直、こうした機会・ケースは他にないと思いますし、会員発表により相互理解・交流を図る契機になり、また、本人には貴重な経験となり、その後の臨床に有益な糧になると信じています。

さて、最近、感じていることですが、IDI の理念への理解が浸透してきた結果として、一般マスコミから取材されるケースがあり、改めて責任を感じています。事実、昨年、社会的にも話題になった院内感染対策に関係して、「評価機関の情報 選ぶ参考に」（朝日新聞：10 月 9 日号）、「失敗しない歯医者選び」（週刊女性：12 月 10 日号）とするタイトルでの記事の中で IDI が紹介されました。特に「IDI は、歯科クリニックの第三者評価機関で、診療内容、人的環境、オフィス環境、運営環境、管理環境、改善環境の 6 つの項目を診査し、すべての項目をクリアした施設に認定マークを与えており、歯科医療の安全性を保障しています。IDI のホームページでも認定クリニックを掲載していますので、チェック

してみても？」と記事にあります。歯科診療の充実・良質な歯科診療の提供・環境整備などは当然ですが、第三者の視点、患者の歯科診療所の選択の目安などが大きなポイントではないかと理解しています。医療人としての矜持と謙虚さ、診療機関のオープンなどが、時代が医療に求めていることを再認識しているということです。そうした意味で I D I の責任が改めて問われてきています。今年も会員の皆様には以前にも増して理解・協力をお願いして、念頭の挨拶とさせていただきます。

<News Headline>

その他、時事ニュースなどは、IDI のホームページにアクセスしてご覧ください。

<http://www.identali.or.jp/>

- 2019 年の歯科界：歯科への評価と期待報道の増加と課題
- 秋元衆院議員の逮捕の余波：歯科医・白須賀衆院議員の事務所捜索に歯科界困惑
- 全世代型社会保障中間まとめ：加藤厚労大臣の期待と地区歯科医師の現状認識
- 中医協総会：歯科視点は「骨太方針 2019」に即した改定への意見反映
- 地域格差の影響・課題：歯科臨床研修制度・歯科医師・歯科衛生士確保などに
- 介護施設での口腔ケアを評価：週刊誌報道「誤嚥性肺炎ゼロの対応・ポイント」
- 大詰めの診療報酬改定：全体はマイナス&本体 0.55%を調整&その他歯科問題も
- 日歯次期参院選挙候補の視野：歯系議員・山田参院議員の存在感示し布石も
- 歯科技工士問題の壁・課題：倉林・厚労委員が“大臣告示”に言及も従来答弁
- 来年度診療報酬改定基本方針：訪問歯科など重点化・明確な点数誘導も示唆
- AMR に対する漢方薬の可能性：王大歯大教授が講演&“口腔ケア”の大切さ強調
- 医療政策機構が山口氏が朝食講演：「医科歯科の患者の相談背景を聞く」姿勢
- 在宅医療及び介護連携WG：医師・越田構成員「在宅医療に歯科重要」と指摘・強調
- “E PARK 歯科”の評価：週刊誌ダイヤモンドが記事 歯科医院検索に懸念も
- 医道審歯科分科会：“共用試験の公的化” “歯学生の医療行為”など意見集約
- 懸念される薬剤耐性問題を議論：“院内感染予防の父”センメルヴェイスから学ぶ
- 有識者会議での懸念発言：「歯科技工所の届出などにまだ不審・不安も」など
- 医療保険部会：林構成員「在宅医療に訪問歯科・医科歯科医連携の明記を」を要望
- タブロイド版マスコミ特別版：「歯周病が招く重病」トップ面で扱われる
- 歯科医師臨床研修の課題：“協力型 2”提案・“訪問歯科は今後も議論”など
- 医療経済実態調査公表：“歯科診療の黒字”に実感なし・数字の背景分析も
- メディア談会：“金銀パラ”“感染記事”等の説明に出席者から厳しい指摘も
- 厚労委員会で島村委員質問：年金・人材紹介なども“時間足りず 3・4 問”
- 東京歯科技工専門学校同窓会：閉校し 10 年・新たなスタート校友親交深める
- 歯科医療技術評価リスト：“光学印象”時代反映の“検査・管理”項目等に注目
- 歯科技工士の養成・確保を議論：“教育年限”“業務範囲”等は今後も検討
- 歯科の将来展望の視野：厚労省は“在宅療養支援歯科診療所”への期待と評価

- 日本学術会議シンポジウム：A I 進歩と放射線領域のA I 進歩と専門家の在り方
- “島村大君を励ます会”：「社会保障制度改革に欠かせない議員・存在」の指摘続く
- 歯科医が“健康に歯科”の趣旨書籍刊行：「口がきれいだ、健康で長生きできる」
- 歯科感染対策の報道：「遅々とした対応」「I D I の情報 歯科診療所選択の参考に」
- 自民党厚労部会陣容：島村・羽生田両参院議員の存在に医療系関係者は期待
- 羽生田・参院議員が新たな意欲示す：「診療報酬改定で意見を言わせていただく」と
- 歯科医師の上梓続き 歯科への理解求める：「健康寿命は歯で決まる」イースト新書Q
- 歯科医・歯科衛生士逮捕：報道の影響 “歯科のイメージダウン “に懸念
- 学術フォーラム “スポーの価値”を議論：“メンタルヘルスへ”視点の理解も
- 公立・公的病院の再編・統合議論：地域事情・実績の議論に歯科議論も
- 歯科医師臨床研修の現状・課題：単独型・管理型へに協力型施設の質に懸念も

発行： NPO 法人歯科医療情報推進機構

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-24-17 ネクストビル 403

TEL：03-5842-5540 FAX：03-5842-5541

発行人： 松本 満茂 奥村 勝